

このページでは「いっしょに！OSAKINI プロジェクト」と題して 2021 年 4 月に設立された大崎町 SDGs 推進協議会（参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そらのまち、株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社）の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI PROJECT

VOL. 48

向井 侯太

(むかい こうた)

事務局

ディレクター



向井です。GW 明けからケニアの皆様をつれて町をウロウロしておりました。トゥルクナ郡（日本の県みたいなもの）の副知事と区長、そして現地で支援する日本の NGO スタッフが一週間ほど滞在して大崎町のリサイクルを学ばれました。関連施設、資源リサイクルごみステーション、企業、役場の皆様のご協力に感謝します。また、昼食に立ち寄ったお店の皆様、手を振ってくれた小学校の子どもたち、先生方、本当ありがとうございました。大崎町の経験が世界に広がる機会を作ることができたのは、町の皆様のおかげです。

循環型のまちづくりを学びに \ ケニアの皆様、ようこそ大崎町へ /

5 月 12 日から 16 日に、ケニア・トゥルクナ郡の副知事をはじめとした自治体職員や、支援団体ピースウィンズ・ジャパンの皆様が大崎町を訪れました。

目的は、大崎町が誇る“住民参加型”のごみ行政や資源循環の仕組みを学ぶことでした。リサイクルシステムの中核を担っているそおりサイクルセンターをはじめとする廃棄物関連施設や企業、教育現場などを視察し、現地スタッフからの研修を受けながら、日本とケニアの循環型社会づくりの違いに触れていただきました。

今後はケニアでの実証実験に向けて、地域事情に合った堆肥化や分別の方法、住民参加の仕組みづくりに挑戦していく予定です。アフリカでも、大崎町の取り組みが未来のヒントになっています。



ケニアってどんな国？



アフリカ東部に位置するケニアは、赤道直下にありながら高地も多く、気候は想像以上に過ごしやすのが特徴です。国土の一部にはサバンナが広がり、ライオンやゾウなど野生動物の宝庫として世界中から観光客が訪れます。

首都はナイロビ、公用語は英語とスワヒリ語。人口は約 5,500 万人で、地域によって文化や生活様式もさまざま。経済発展が進む一方、ごみ処理や環境保全、難民問題など、地域課題に直面する現状もあります。

公式 LINE アカウント

OSAKINI 回覧板

「OSAKINI プロジェクト」に関わる様々な情報や楽しいイベントをお知らせします！ぜひご登録ください。



お問い合わせ先

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会

099-478-1487